

2025 年度 事業計画

1. 年度スローガン

「心にゆとり、地域にひかりを ~ICT でつなぐ安心と、笑顔あふれる日常~」

2. 数値目標

- 年間売上: 6,000 万円(月平均 500 万円)
- 稼働率目標: 80% → 90%以上への引き上げ
- 業務時間削減: ICT 導入により事務作業時間を月間 20%削減(その分を現場の「ゆとり」へ)

3. 重点施策(3 つの柱)

① 現場の「余裕」を生む ICT・AI 活用

スタッフに余裕がない現状を打破するため、まずはバックヤードの効率化を優先します。

- 音声入力・AI 記録システムの検討: 介護記録の転記時間をゼロに近づけ、スタッフが利用者と向き合う時間を確保します。
- 送迎ルート最適化 AI: 送迎表作成の時間を短縮し、運転手の負担を軽減します。

② 「心豊かな日常」と「地域貢献」の融合

単なるレクリエーションではなく、地域と混ざり合う活動を軸にします。

- デイの開放: 空き時間や土日を活用した「認知症カフェ」や「介護相談会」の実施。
- 地域資源の活用: 地元の商店やボランティアを招いたイベントを月 1 回開催。これが結果として、ケアマネジャーへの強力なアピール(営業)になります。

③ 稼働率向上のための「選ばれる理由」作り

平均介護度 1.3 という「自立に近い方」が多い特性を活かします。

- 「役割」のあるデイ: 地域貢献活動(地域の掃除、内職など)を利用者と共にを行い、社会参加の喜び(心の豊かさ)を提供します。